

## 教育講演

アーカイブ配信

### NETの分子生物学

#### ES Deciphering the clinical implications of genetic and epigenetic alterations in sporadic and hereditary neuroendocrine tumors

Amit Tirosh

NET Service, Division of Endocrinology, Sheba Medical Center, Israel

## シンポジウム1 (アーカイブ)

アーカイブ配信

### NET Theranostics

座長：細野 眞 (近畿大学 医学部 放射線医学教室)

市川 靖史 (横浜市立大学 大学院医学研究科 がん総合医科学)

#### S1-1 NET Theranostics

Damian Wild

Radiology & Nuclear Medicine, University Hospital Basel, Switzerland

#### S1-2 日本人に対するPRRTの適応と問題点

小林 規俊

横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科

#### S1-3 Theranostics and future perspective in NET

絹谷 清剛

金沢大学医薬保健研究域医学系 核医学

## 一般演題1

アーカイブ配信

### 一般 消化管・その他

#### ○1-1 リンパ節転移を認めた4 mmの直腸神経内分泌腫瘍G1の1例

岡崎 直人<sup>1)</sup>、勝又 健次<sup>1)</sup>、有働 竜太郎<sup>1)</sup>、田子 友哉<sup>1)</sup>、笠原 健大<sup>1)</sup>、真崎 純一<sup>1)</sup>、榎本 正統<sup>1)</sup>、石崎 哲央<sup>1)</sup>、的場 周一郎<sup>2)</sup>、土田 明彦<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学 消化器・小児外科学分野、2) 虎の門病院 消化器外科

#### ○1-2 当科で経験した頭頸部領域の神経内分泌癌

徳久 元彦、竹田 雄馬、大久保 直紀、鈴木 章浩、小林 規俊、市川 靖史

横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科

#### ○1-3 鎖骨部病的骨折を契機に診断された乳腺原発神経内分泌癌の1例

河手 敬彦<sup>1)</sup>、宮原 か奈<sup>1)</sup>、上田 亜衣<sup>1)</sup>、浅岡 真理子<sup>1)</sup>、岡崎 美季<sup>1)</sup>、織本 恭子<sup>1)</sup>、呉 蓉榕<sup>1)</sup>、安達 佳世<sup>1)</sup>、岩井 真花<sup>1)</sup>、佐藤 永一<sup>2)</sup>、石川 孝<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学 乳腺科学分野、2) 東京医科大学病院 病理診断科

#### ○1-4 終末期にガストリノーマに形質転換し、十二指腸潰瘍穿孔を発症した非機能性神経内分泌腫瘍の1例

岩城 慶大<sup>1,2)</sup>、小林 規俊<sup>2,3,4)</sup>、竹田 雄馬<sup>3,4)</sup>、徳久 元彦<sup>3,4)</sup>、尾崎 杏奈<sup>2)</sup>、大久保 直紀<sup>2,3)</sup>、結末 貴臣<sup>1,2)</sup>、鈴木 章浩<sup>2)</sup>、吉原 努<sup>1,2)</sup>、中島 淳<sup>2)</sup>、市川 靖史<sup>3,4)</sup>

1) 横浜市立大学附属病院 緩和医療科、2) 横浜市立大学 大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室、

3) 横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科、4) 横浜市立大学 大学院医学研究科 がん総合医科学

**○1-5 回腸NET術後の多発遠隔転移に対し集学的治療を行い、長期生存を得られた1例**

高野 祐樹、榎本 正統、田子 友哉、笠原 健大、和田 貴宏、真崎 純一、桑原 寛、石崎 哲央、永川 裕一、勝又 健次、土田 明彦  
東京医科大学 消化器・小児外科学分野

**○1-6 神経内分泌腫瘍患者の診断と治療へのアクセスにおける課題の調査 (SCAN)**

－ NET診断に関する日本、欧米、世界の比較－

Yoshiyuki Majima<sup>1,3)</sup>、Tetsuhide Ito<sup>2,3)</sup>、Catherine Bouvie<sup>3)</sup>、Mark McDonnell<sup>3)</sup>、Christine Rodien-Louw<sup>3)</sup>、Dirk Van Genechten<sup>3)</sup>、Gellerman Leyden<sup>3)</sup>、Elyse Gellerman<sup>3)</sup>、Sugandha Dureja<sup>3)</sup>、Teodora Kolarova<sup>3)</sup>

1) パンキャン Japan、2) 福岡山王病院 肝臓・胆のう・膵臓・神経内分泌腫瘍センター、  
3) International Neuroendocrine Cancer Alliance

**○1-7 十二指腸乳頭部神経内分泌腫瘍に対して内視鏡的乳頭切除術を施行した4例**

島井 智士、山本 健治郎、祖父尼 淳、土屋 貴愛、石井 健太郎、田中 麗奈、殿塚 亮祐、本定 三季、永井 一正、糸井 隆夫  
東京医科大学 臨床医学系 消化器内科学分野

**一般演題2**

アーカイブ配信

**一般 膵臓**

**○2-1 カルボプラチン・エトポシド療法が奏効した、多発転移を伴う胆嚢神経内分泌癌の1例**

池澤 賢治<sup>1)</sup>、高田 良司<sup>1)</sup>、大塚 倫之<sup>2)</sup>、甲斐 優吾<sup>1)</sup>、山井 琢陽<sup>1)</sup>、福武 伸康<sup>1)</sup>、上原 宏之<sup>1)</sup>、長田 盛典<sup>3)</sup>、大川 和良<sup>1)</sup>

1) 大阪国際がんセンター 肝胆膵内科、2) 大阪国際がんセンター 腫瘍内科、  
3) 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科

**○2-2 胆嚢神経内分泌癌に対して放射線化学療法が著効した1例**

竹田 雄馬<sup>1)</sup>、大久保 直紀<sup>1)</sup>、鈴木 章浩<sup>1)</sup>、徳久 元彦<sup>1)</sup>、三輪 治生<sup>2)</sup>、小林 規俊<sup>1)</sup>、市川 靖史<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科、2) 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 内科

**○2-3 終末期にインスリノーマを合併し、低血糖のコントロールが困難であった機能性神経内分泌腫瘍 (ガストリノーマ) の1例**

結束 貴臣<sup>1,2)</sup>、小林 規俊<sup>2,3,4)</sup>、吉原 努<sup>1,2)</sup>、冬木 晶子<sup>1,2)</sup>、岩城 慶大<sup>1,2)</sup>、竹田 雄馬<sup>3,4)</sup>、大久保 直紀<sup>3,4)</sup>、鈴木 章浩<sup>3,4)</sup>、徳久 元彦<sup>3,4)</sup>、中島 淳<sup>2)</sup>、市川 靖史<sup>3,4)</sup>

1) 横浜市立大学附属病院 緩和医療科、2) 横浜市立大学 大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室、  
3) 横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科、4) 横浜市立大学 大学院医学研究科 がん総合医科学

**○2-4 EUS-FNA針洗浄液のLiquid based cytologyを併用し診断した7mm大の膵神経内分泌腫瘍の1例**

山井 琢陽、池澤 賢治、大工 和馬、前田 真吾、甲斐 優吾、高田 良司、福武 伸康、上原 宏之、大川 和良

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科

**○2-5 術中血糖モニタリングにより根治切除を確認したインスリノーマの1例**

井口 公太<sup>1)</sup>、羽生 敬<sup>1)</sup>、境内 大和<sup>2)</sup>、岩崎 可南子<sup>2)</sup>、河合 隆之<sup>1)</sup>、奥田 雄紀浩<sup>1)</sup>、上村 良<sup>1)</sup>、上田 修吾<sup>1)</sup>、濱崎 暁洋<sup>2)</sup>、寺嶋 宏明<sup>1)</sup>

1) 田附興風会医学研究所 北野病院 消化器センター 消化器外科、2) 田附興風会医学研究所 北野病院 糖尿病内分泌内科

**○2-6 膵神経内分泌腫瘍術後リンパ節再発に対するリンパ節摘出を複数回を行い、長期予後を得た2症例**

羽根 佑真、土川 貴裕、田中 公貴、中西 喜嗣、浅野 賢道、野路 武寛、中村 透、岡村 圭祐、七戸 俊明、平野 聡

北海道大学 大学院医学院・医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ

**○2-7 診断に苦慮したPNENの1例**

三宅 隼人<sup>1)</sup>、安田 律<sup>2)</sup>、岡本 直樹<sup>2)</sup>、岸埜 高明<sup>2)</sup>、福本 晃平<sup>2)</sup>、北村 陽子<sup>2)</sup>、森 康二郎<sup>2)</sup>、田中 斉祐<sup>2)</sup>、金政 和之<sup>2)</sup>、保田 宏明<sup>1)</sup>

1) 京都府立医科大学 大学院医学研究科 消化器内科学教室、2) 市立奈良病院 消化器肝臓病センター

## 臨床・基礎研究

## ○3-1 当院における肺外神経内分泌癌 (EP-NEC) に対する化学療法の治療成績

大久保 直紀<sup>1)</sup>、小林 規俊<sup>1)</sup>、竹田 雄馬<sup>1)</sup>、鈴木 章浩<sup>1)</sup>、徳久 元彦<sup>1)</sup>、廣島 幸彦<sup>2)</sup>、後藤 歩<sup>3)</sup>、市川 靖史<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科、2) 神奈川県立がんセンター がんゲノム診療科、3) ごとう内科クリニック

## ○3-2 当院における神経内分泌腫瘍のがん遺伝子パネル検査を施行した4例の検討

鈴木 章浩<sup>1,2)</sup>、小林 規俊<sup>1)</sup>、竹田 雄馬<sup>1)</sup>、大久保 直紀<sup>1)</sup>、徳久 元彦<sup>1)</sup>、加藤 真吾<sup>2)</sup>、中島 淳<sup>3)</sup>、市川 靖史<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科、2) 横浜市立大学附属病院 がんゲノム診断科、

3) 横浜市立大学附属病院 消化器内科 肝胆膵消化器病学

## ○3-3 GEP-NETにおけるゲノムシーケンス法による横断的な遺伝子変異解析

小野 宏晃、工藤 篤、石川 喜也、上田 浩樹、赤星 径一、小川 康介、田邊 稔  
東京医科歯科大学 肝胆膵外科

## ○3-4 膵神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体放射性核種療法 (PRRT) の現在点

長谷川 翔<sup>1,2)</sup>、小林 規俊<sup>2)</sup>、市川 靖史<sup>2)</sup>

1) 横浜市立大学 大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室、2) 横浜市立大学 大学院医学研究科 がん総合医科学

## ○3-5 前腸、後腸由来消化管神経内分泌腫瘍におけるSSTR2発現の画像解析を用いた検討

渡邊 裕文<sup>1)</sup>、藤島 史喜<sup>1)</sup>、河本 泉<sup>2)</sup>、今村 正之<sup>2)</sup>、肱岡 範<sup>3)</sup>、鳥山 和浩<sup>4)</sup>、谷田部 恭<sup>5)</sup>、工藤 篤<sup>6)</sup>、元井 冬彦<sup>7)</sup>、海野 倫明<sup>8)</sup>、笹野 公伸<sup>1)</sup>

1) 東北大学 大学院医学系研究科 病理診断学分野、2) 関西電力病院 消化器外科、

3) 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科、4) 愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部、

5) 国立がん研究センター中央病院 病理診断科、6) 東京医科歯科大学 肝胆膵外科、

7) 山形大学 医学部 外科学第一講座、8) 東北大学病院 総合外科

## ○3-6 クロロキンは膵神経内分泌腫瘍において小胞体ストレスを介してアポトーシスを誘導する

仲野 健三<sup>1)</sup>、増井 俊彦<sup>1)</sup>、金田 明大<sup>1)</sup>、余語 覚匡<sup>1)</sup>、内田 雄一郎<sup>1)</sup>、佐藤 朝日<sup>1)</sup>、長井 和之<sup>1)</sup>、穴澤 貴行<sup>1)</sup>、川口 義弥<sup>1)</sup>、上本 伸二<sup>2)</sup>

1) 京都大学 肝胆膵・移植外科、2) 滋賀医科大学

## ○3-7 膵神経内分泌腫瘍細胞株 (QGP-1) へのメトホルミン投与による細胞増殖抑制効果の検討

丸銭 祥吾<sup>1)</sup>、田島 秀浩<sup>1)</sup>、山本 靖彦<sup>2)</sup>、棟居 聖一<sup>2)</sup>、太田 哲生<sup>1)</sup>

1) 金沢大学附属病院 肝胆膵・移植外科、2) 金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科 医学専攻 血管分子生物学

## 消化管

## ○4-1 当教室で経験した胃内分泌細胞腫瘍16例の検討

田村 裕子<sup>1)</sup>、小坂 隆司<sup>1)</sup>、笠原 康平<sup>1)</sup>、中川 和也<sup>1)</sup>、小澤 真由美<sup>1)</sup>、石部 敦士<sup>1)</sup>、秋山 浩利<sup>1)</sup>、國崎 主税<sup>2)</sup>、遠藤 格<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学附属病院 消化器外科、2) 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科

## ○4-2 直腸NETのリンパ節転移頻度と危険因子の検討

中川 和也<sup>1)</sup>、石部 敦士<sup>1)</sup>、千田 圭悟<sup>2)</sup>、後藤 晃紀<sup>2)</sup>、諏訪 雄亮<sup>2)</sup>、諏訪 宏和<sup>3)</sup>、小澤 真由美<sup>1)</sup>、渡邊 純<sup>2)</sup>、大田 貢由<sup>4)</sup>、遠藤 格<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学 医学部 消化器・腫瘍外科学、2) 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科、

3) 横須賀共済病院 外科、4) 横浜市立みなと赤十字病院 外科

## ○4-3 直腸神経内分泌腫瘍の内視鏡治療との臨床病理学的特徴

蓑輪 彬久、塚本 宏延、浦壁 憲司、貫井 嵩之、石原 亮、鬼頭 佑輔、鈴木 健人、鈴木 雄太、羽根田 賢一、水島 隆史、奥村 文浩

岐阜県立多治見病院 消化器内科

#### ○4-4 当院で経験した胃原発神経内分泌腫瘍の治療方針の検討

篠原 良仁、土川 貴裕、海老原 裕磨、倉島 庸、村上 壮一、野路 武寛、中村 透、岡村 圭祐、七戸 俊明、平野 聡  
北海道大学 大学院医学院・医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ

#### ○4-5 胃原発混合神経内分泌非神経内分泌腫瘍 (MiNEN) の全エクソームシーケンスによる解析

工藤 拓也<sup>1)</sup>、石田 苑子<sup>1)</sup>、中村 哲<sup>1)</sup>、裏川 直樹<sup>1)</sup>、山本 将士<sup>1)</sup>、金治 新悟<sup>1)</sup>、松田 佳子<sup>1)</sup>、鈴木 知志<sup>2)</sup>、全 陽<sup>3)</sup>、掛地 吉弘<sup>1)</sup>

- 1) 神戸大学 大学院医学研究科 外科学講座 食道胃腸外科学分野、
- 2) 神戸大学 大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 地域医療ネットワーク学分野、
- 3) King's College Hospital & King's College London Institute of Liver Studies

#### ○4-6 当科における大腸神経内分泌腫瘍のリンパ節径とリンパ節転移の関係についての検討

藤川 馨、能浦 真吾、鈴木 陽三、竹山 廣志、藤本 直斗、柳本 喜智、野口 幸藏、清水 潤三、今村 博司、富田 尚裕、堂野 恵三  
市立豊中病院 外科・消化器外科

### 一般演題5

### アーカイブ配信

## 膵臓

#### ○5-1 当院における膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵体尾部切除の検討

谷口 隆之、井手野 昇、友杉 隆宏、木村 隆一郎、中房 智樹、森 泰寿、池永 直樹、仲田 興平、中村 雅史  
九州大学 大学院 臨床・腫瘍外科

#### ○5-2 胆道または膵臓原発NECに対するFOLFOX/FOLFIRI療法の検討

佐竹 智行、森實 千種、丸木 雄太、永塩 美邦、大場 彬博、近藤 俊輔、肱岡 範、上野 秀樹、奥坂 拓志  
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

#### ○5-3 膵神経内分泌腫瘍の画像診断におけるSRSの有用性についての検討

豊留 孝史郎<sup>1)</sup>、岩屋 博道<sup>1)</sup>、児島 一成<sup>1)</sup>、樋之口 真<sup>1)</sup>、川平 真知子<sup>1)</sup>、有馬 志穂<sup>1)</sup>、田ノ上 史郎<sup>1)</sup>、橋元 慎一<sup>1)</sup>、岩下 祐司<sup>2)</sup>、田口 宏樹<sup>3)</sup>、井戸 章雄<sup>1)</sup>

- 1) 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学分野、2) 鹿児島市立病院 消化器内科、
- 3) 済生会川内病院 消化器内科

#### ○5-4 当院で経験した膵神経内分泌微小腺腫の臨床病理学的検討

大川 裕貴、土川 貴裕、松井 あや、田中 公貴、中西 喜嗣、浅野 賢道、野路 武寛、中村 透、岡村 圭祐、平野 聡  
北海道大学病院 消化器外科Ⅱ

#### ○5-5 膵神経内分泌腫瘍に対する至適切除術式の検討

新藤 芳太郎<sup>1)</sup>、徳光 幸生<sup>1)</sup>、松井 洋人<sup>1)</sup>、松隈 聡<sup>1)</sup>、中島 正夫<sup>1)</sup>、飯田 通久<sup>1)</sup>、鈴木 伸明<sup>1)</sup>、武田 茂<sup>1)</sup>、井岡 達也<sup>2)</sup>、永野 浩昭<sup>1)</sup>

- 1) 山口大学 大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学、2) 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター

#### ○5-6 当院における膵NET G3と膵NECの臨床病理学的特徴と治療成績についての検討

児島 一成、岩屋 博道、川平 真知子、樋之口 真、小牧 祐雅、有馬 志穂、田ノ上 史郎、佐々木 文郷、橋元 慎一、上村 修司、井戸 章雄  
鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学分野

# LIVE 配信

## 開会の挨拶

9:45-9:55 LIVE配信

## スポンサードシンポジウム 1

10:00-10:50 LIVE配信

### NET 診療におけるソマトスタチン受容体 (SSTR) 発現の意義

座長：島津 章（草津総合病院 先進医療センター）

#### SP1-1 SSTR2 の膵 NET における画像解析を用いた定量的検索

笹野 公伸

東北大学 大学院医学系研究科 病理診断学分野/東北大学病院 病理部

#### SP1-2 ソマトスタチンの基礎と臨床

高野 幸路

北里大学 医学部 内分泌代謝内科学

共催：帝人ファーマ株式会社

## スポンサードシンポジウム 2

11:00-12:00 LIVE配信

### ゲノム診療と画像診断の最前線！ NEN への展開を考える

座長：絹谷 清剛（金沢大学医薬保健研究域医学系 核医学）

#### SP2-1 NET に対するゲノム診療の現状と課題

森實 千種

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 希少がんセンター

#### SP2-2 腫瘍画像における Radiomics 解析の可能性

巽 光朗

大阪大学医学部附属病院 放射線部

共催：富士フイルム 富山化学株式会社/ノバルティス ファーマ株式会社

## スポンサードセミナー 1

12:10-13:00 LIVE配信

### NET 治療最前線

座長：伊藤 鉄英（福岡山王病院 肝臓・胆のう・膵臓・神経内分泌腫瘍センター）

#### SS1-1 NET における新規話題と治療戦略

肱岡 範

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

#### SS1-2 NET における外科的治療 up to date

工藤 篤

東京医科歯科大学医学部附属病院 肝胆膵外科

#### 総合討論 NET における集学的治療を考える

肱岡 範

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

工藤 篤

東京医科歯科大学医学部附属病院 肝胆膵外科

共催：ファイザー株式会社/ノーベルファーマ株式会社

スポンサーセミナー 2

13:10-14:00 LIVE配信

## 消化管神経内分泌腫瘍に対する治療戦略

座長：今村 正之（関西電力病院 神経内分泌腫瘍センター）

### SS2-1 膵・消化管神経内分泌腫瘍の病理診断

大池 信之  
静岡県立静岡がんセンター 病理診断科

### SS2-2 膵・消化管神経内分泌腫瘍の特徴とその治療戦略

増井 俊彦  
京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科

共催：帝人ファーマ株式会社/帝人ヘルスケア株式会社

シンポジウム 2 (LIVE)

14:30-15:20 LIVE配信

## NEC、NETの最新知見

座長：上本 伸二（滋賀医科大学）

### S2-1 食道原発神経内分泌癌における分子生物学的特性に基づく切除適応症例選択の可能性

奥村 知之  
富山大学附属病院 第二外科

### S2-2 膵神経内分泌腫瘍 (pancreatic neuroendocrine neoplasms, PanNENs) に対する薬物療法の最新知見

水野 伸匡、羽場 真、桑原 崇通、奥野 のぞみ、原 和生  
愛知県がんセンター 消化器内科部

最優秀・優秀演題賞発表

15:30-15:40 LIVE配信

閉会の挨拶

15:40-15:50 LIVE配信